

哲 学 歴 史 学

教 授 田 辺 正 英

◆ 研究概要

- 1) 人間における実存と安らぎの問題
- 2) 日本仏教における親鸞や蓮如の思想を通しての罪や悪と救済の問題
- 3) キリスト教における罪と救済の問題
- 4) 西田哲学や田辺哲学の絶対無の問題

以上の4項目は第5輯（研究活動一覧1981）に述べたことと大体同じであるが、1)の項目の最近の研究内容をレジュメの形式で述べると次のごとくである。

O.F. ボルノーにおける希望と感謝について

現代西欧における希望の哲学と呼ばれる哲学（ほかに E. ブロッホ、G. マルセルの哲学がある）を提唱している一人として O.F. ボルノー博士が挙げられる。彼は物理学専攻より転じて生の哲学を基盤として、現代の実存哲学が人間の有限性や不安や絶望を通して、無や死からの脱出をはかろうとする暗い人間存在の立場をとるのを批判的に見直して、人間の存在の中で可能な生の安らぎや憩いを、実存の無の克服の方向として捉えようとするのである。宗教的な希望・信仰・愛の中ではなくして、現実の人間存在の中にあるものとして希望を捉えることによって、感謝を捉えることによって、実存哲学の深さを生かしながら、生の哲学の人間性における再生を考えようとするものである。この立場が時間（ハイデッカーの立場）より空間への重視として、ミンコフスキーやビンズワンガーなどの精神医学にも関連をもって来るものとなるのである。これらを相関的に追求しようとした。

◆ 原 著

1) 田辺正英：懺悔道と浄土真宗。宗教研究（日本宗教学会編）第55巻第3輯（第250号）110－111，1982。

2) 田辺正英：懺悔道と親鸞の思想，富山医科薬科大学一般教育研究紀要 第4号 1－8，1982。

◆ 学会報告

1) 田辺正英：O.F. ボルノーにおける感謝について，日本宗教学会学術大会（第41回）1982. 10，九州大学文学部。

助 教 授 小 沢 浩

◆ 研究概要

昨年と同じ（前号参照）

◆ 著 書

小沢 浩：水戸藩の宗教統制と民衆。「近世国家の成立過程」津田秀夫編，291－335，塙書房，1982。

法 学

助 教 授 阿 原 稔

◆ 著 書

阿原 稔：労働者災害補償保険法。「社会保障法講義」林 迪廣・古賀昭典編，194－216，法律文化社，1982。

心 理 学

助 教 授 中 瀬 惇

◆ 研究概要

これ迄の継続で「新版K式発達検査」の標準化作業の整備と，解説書発行の準備が中心であるが，検査の対象年齢を0～12才に拡大した為，現在もDataを一部，追加収録中である。

数 学

教 授 須 藤 修 作

助 教 授 白 井 進

◆ Review

1) 白井 進：以下は Mathematical Reviews（アメリカ数学会発行）の reviewer としての仕事である：i) MR 82i:12005。

◆ 学会報告

1) 白井 進：初等整数論における一定理，日本数学会代数学分科会，1982，9，津。

◆ その他

1) 白井 進：Jacobi sum の係数について，金沢大学理学部数学教室代数学談話会，1982，12，金沢。